

## 射水市の将来像（案）

### 1 現行計画に掲げる将来像

「豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る きららか射水」

### 2 第3次射水市総合計画に掲げる将来像（案）

「『価値ある時間』を過ごせるまち

まちにあふれる『いみずの本気』」

収入や健康といった外形的な価値だけでなく、自分が過ごす時間に価値を見い出せることも「幸せ」であると考えれば、射水市は豊かさであふれている。祭りに参加し、海、里山で遊び、文化に触れ、スポーツを楽しむなど、射水市は結果ではなく、過程（時間）を楽しむことができるまちを目指す。

「幸せ」は過程を楽しむことにある、という価値観を射水市民に定着させ、価値ある時間を過ごせるまちにすることで、これからは、若者は都会に出るのではなく、地元に残る・戻るようにしたい、という思いを表現した。

「多様な個性を認め合い、共に創るまち」

これからのまちづくりは、多様な主体がかかわりあって進めて行かなければ、持続することが難しい。国籍、性別、年齢、職業などに関わらず、それぞれの個性を尊重しながら、様々な価値観を持ち寄り、みんなでまちづくりに取り組むという思いを表現した。

委員の意見に「Diversity and Inclusionを日本語化したようなキーワードがあればよい」という意見があったが、それが「共創」という言葉に言い換えられるのではないか。また、伝わりやすいようシンプルな表現とした。

「いろいろ、かさなり、ひろがる 射水」

一人ひとりの個性や多様性、まちの魅力などを表す「いろいろ」。

個性や多様性、魅力が調和している状態や人々が行き交う様子を表す「かさなり」。

新たな価値が創られ、波及、浸透していく状況や人とのつながり、世界に向けて、未来に向かっての夢を表す「ひろがる」。

これから射水市が目指すまちは、一人ひとりの個性や多様な価値観を尊重し、違いを認め合う多様性・包摂性のあるまち、様々な地域資源が輝きを放つまち、それらがつながり、重なり合うことによって新しい価値や支え合いや交流が生まれるまち、さらにそれらが面的、時間的に広がるとともに、射水市から発信される先進的なまちであるとする。

なお、「いろいろ」や「かさなり」は、委員からいただいたイラストのイメージも参考にした。